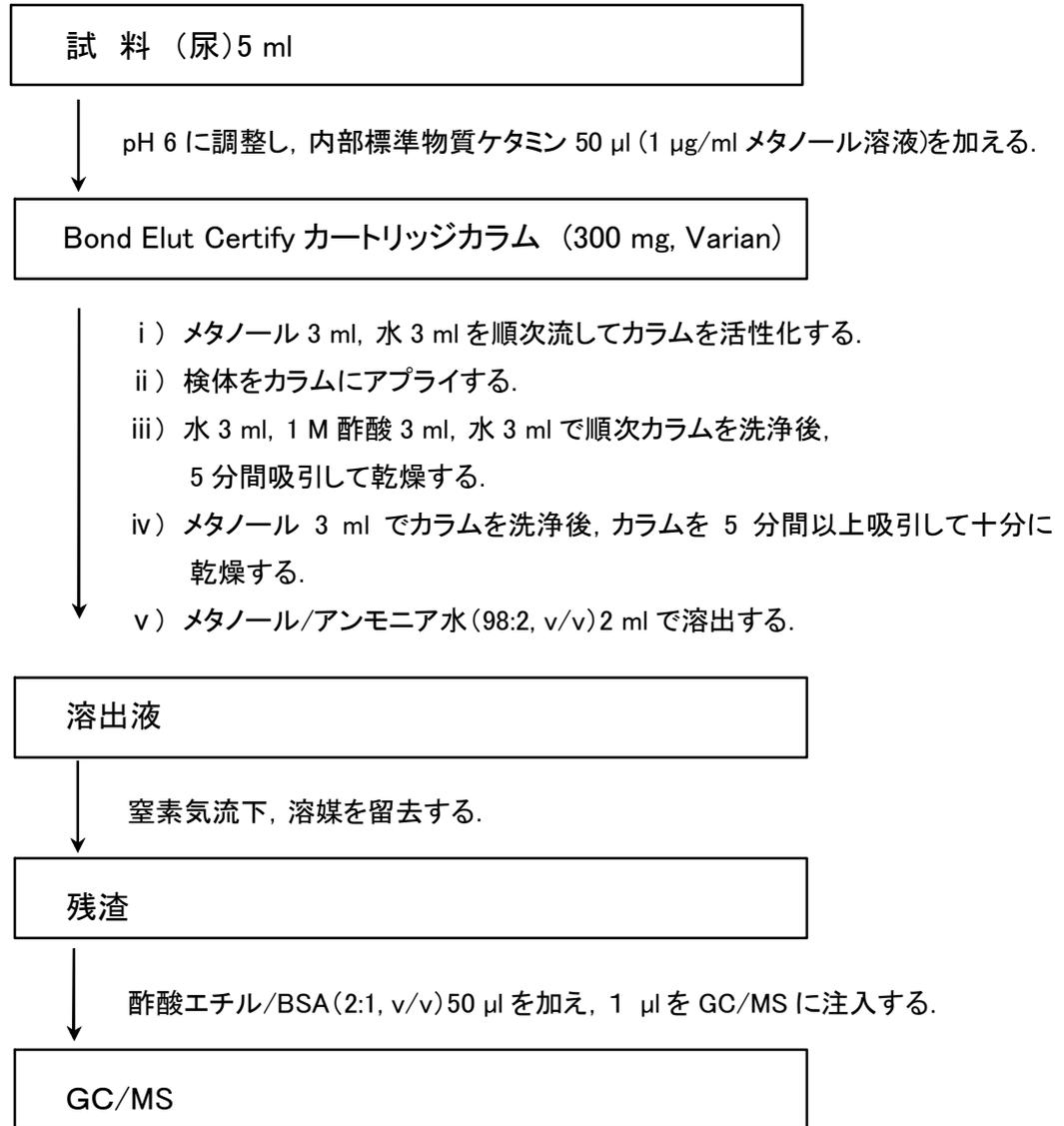


B. フェンシクリジン(PCP)

(1)ガスクロマトグラフィー・質量分析法(GC/MS)

i) 前処理法(固相抽出)



iii) GC/MS の条件

装置	: ガスクロマトグラフ/質量分析計
カラム	: DB-1, 20 m × 0.25 mm i.d., 膜厚 0.2 µm
温度	: カラム 60 °C (0.5 min) - 20 °C/min - 280 °C; 注入口 200 °C
キャリアガス	: ヘリウム
確認スペクトル	: PCP m/z 200, 242, 186, 166
注入法	: スプリットレス
イオン化	: EI 70 eV
測定	: 質量範囲 m/z 50-550 ; 時間 25 min

【注 解】

- 1) PCP の判定基準は次の通りとする.
 1. 尿中 PCP 濃度がカットオフ値 (25 ng/ml) 以上.
 2. 標準 PCP と保持時間 (8 min) が一致.
 3. 標準 PCP のマススペクトルとの一致.
 4. ブランク尿がカットオフ値の 1/10 以下であることを確認.
- 2) 主代謝物として, 水酸化体 4-phenyl-4-piperidino-cyclohexanol (PPC), 1-(1-phenyl-cyclohexyl)-4-hydroxypiperidine (PCHP)が生成する. 必要があれば TMS 体として確認する.

【文 献】

1. 生体試料の薬物鑑定に関する総合的研究班編(厚生省). 生体試料の薬物鑑定フォーラム'94. 1994; p.77-106.